

第 83 回 通 常 総 会 の 開 催

第 83 回通常総会が、令和 8 年 6 月 22 日、明治記念館 2 階「蓬莱の間」において開催された。

本総会では、議案として、「第 1 号議案 令和 7 年度事業報告の件」、「第 2 号議案 令和 7 年度決算の件」、「第 3 号議案 令和 8 年度事業計画の件」、「第 4 号議案 令和 8 年度予算の件」、「第 5 号議案 令和 8 年度会費及び賛助会費の件」、「第 6 号議案 『公益社団法人 日本獣医師会定款』の一部改正に関する件」、「第 7 号議案 『日本獣医師会役員の報酬等に関する規程』の一部改正に関する件」、「第 8 号議案 逝去理事に対する退職慰労金の支給に関する件」、「第 9 号議案 役員選任の件」について審議が行われ、異議なく承認された。

第 83 回通常総会の議事概要は下記のとおり。

第 83 回通常総会の議事概要

- I 日 時 令和 8 年 6 月 22 日(月) 13:30～16:30
- II 場 所 明治記念館 2 階「蓬莱の間」
- III 出席者
 - 1 正会員 全国 55 都道府県市獣医師会
(会場出席 51, 委任状提出 1, 議決権行使書 3)
 - 2 日本獣医師会
 - 【会 長】 藏内勇夫
 - 【副 会 長】 鳥海 弘, 西山治生, 栗本まさ子
 - 【専務理事】 伏見啓二
 - 【地区理事】 田村 豊(北海道地区)
小山田富弥(東北地区)
宇佐美 晃(関東地区)
上野弘道(東京地区)
佐藤 博(中部地区)
長谷川哲也(近畿地区)
安食政幸(中国地区)
草場治雄(九州地区)
 - 【職域理事】 佐藤れえ子(学術・教育・研究職域理事)
立川文雄(産業動物臨床)
森 尚志(小動物臨床)
吉武 朗(家畜共済)
島村 剛(家畜防疫・衛生)
梅田浩史(公衆衛生)
佐伯 潤(動物福祉・愛護)
石橋朋子(特任理事・外部理事)
 - 【監 事】 市川陽一郎, 佐々木一弥,
柴山隆史(外部監事)
 - 【顧 問】 酒井健夫, 砂原和文, 村中志朗
 - 【オブザーバー】 栗島正徳(香川県獣医師会会長)
 - 【欠 席】 北村直人(顧問)

3 来 賓

【参議院議員】

山下雄平(農林水産副大臣 参議院議員)
松山政司(自由民主党 参議院議員)
上田 勇(公明党 参議院議員)

【農林水産省】

坂 勝浩(農林水産省消費・安全局長)
木下雅由(大臣官房審議官兼消費・安全局付兼輸出・国際局付)

古田暁人(消費・安全局畜水産安全管理課長)

沖田賢治(消費・安全局動物衛生課長)

中平英典(経営局保険課長兼保険監理官)

岩田 啓(消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐)

村上真理子(経営局保険監理官補佐)

田村みず穂(消費・安全局畜水産安全管理課獣医療振興係長)

田村優衣(消費・安全局畜水産安全管理課係員)

【環 境 省】

堀上 勝(環境省自然環境局長)

石川拓哉(自然環境局総務課動物愛護管理室長)

本橋克弥(自然環境局総務課動物愛護管理室指導調整専門官)

【厚生労働省】

鷺見 学(厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部長)

今川正紀(健康・生活衛生局食品監視安全課長)

大塚和子(健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課感染症情報管理室長兼ワンヘルス対策推進室長)

温井健司(健康・生活衛生局食品監視安全課 課長補佐)

佐々木菜保子(健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課ワンヘルス対策推進室ワンヘルス班長)

佐分洋平(健康・生活衛生局食品監視安全課肉肉安全係長)

【文部科学省】

松浦重和(文部科学省大臣官房審議官)

松本英登(高等教育局専門教育課長)

土田裕美(高等教育局専門教育課教育振興係長)

森山葉月（高等教育局専門教育課教育振興係員）

【獣医学系大学】

枝村一弥（日本大学生物資源科学部 動物病院 病院長）

村上 賢（麻布大学 学長）

【関係団体等】

松本吉郎（公益社団法人 日本医師会 会長）

姫田 尚（公益社団法人 中央畜産会 副会長）

松本博紀（公益社団法人 畜産技術協会専務理事）

安藤智和（公益財団法人 全国競馬・畜産振興会 業務部
上席調査役）

長井伸也（公益社団法人 日本動物用医薬品協会 副理事長）

宗像俊太郎（公益社団法人 日本動物病院協会 会長）

東海林克彦（公益社団法人 日本愛玩動物協会 会長）

飯塚 修（公益財団法人 日本動物福祉協会 理事）

強谷雅彦（一般社団法人 日本家畜人工授精師協会 会長）

相原夏実（一般社団法人 全国動物薬品器材協会 理事長）

佐藤順子（一般社団法人 日本小動物獣医師会 会長）

横田淳子（一般社団法人 日本愛玩動物看護師会 会長）

Ⅳ 議 事

【決議事項】

- 第1号議案 令和7年度 事業報告の件（報告事項）
- 第2号議案 令和7年度 決算の件（承認事項）
- 第3号議案 令和8年度 事業計画の件（報告事項）
- 第4号議案 令和8年度 予算の件（報告事項）
- 第5号議案 令和8年度 会費及び賛助会費の件（承認事項）
- 第6号議案 「公益社団法人 日本獣医師会定款」の一部改正に関する件（承認事項）
- 第7号議案 「日本獣医師会役員の報酬等に関する規程」の一部改正に関する件（承認事項）
- 第8号議案 逝去理事に対する退職慰労金の支給に関する件（承認事項）
- 第9号議案 役員選任の件（承認事項）

V 会議概要

【開 会】

駒田事務局長から、開会時において定款第20条の規定に基づき、正会員である地方獣医師会の過半数が出席しており、本総会が成立する旨が告げられた後、日本獣医師会・獣医師倫理綱領「獣医師の誓い—95年宣言」が一同により斉唱された。

【会長挨拶】



藏内会長から開会挨拶が行われた（巻頭言参照）。

【来賓ご挨拶（大要）】

来賓から次のとおり挨拶が行われた。

〈農林水産副大臣、山下雄平参議院議員〉



皆様、こんにちは。ご紹介賜りました農林水産副大臣を務めております山下雄平と申します。本来であれば、農林水産大臣の鈴木憲和がこちらにお邪魔して、皆様に親しくご挨拶するところではありますけれども、今日は午前午後と国会で予算委員会が開かれており、

まさに今審議中のごさいます、大臣がどうしても出席がかなわないということで、副大臣の私山下雄平がこちらにお邪魔してご挨拶させていただくことになりました。大変光栄に思っております。

本日は、公益社団法人 日本獣医師会の第83回通常総会が、盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。日頃から日本獣医師会の皆様には獣医療の発展、畜産の振興や公衆衛生の向上、動物の愛護や福祉の推進、獣医学術の振興・普及など、幅広い分野でご活躍いただいていることに深く敬意を表します。

また、先ほど藏内会長もお触れになりましたが、今年4月の世界獣医師会大会は31年ぶりの日本での開催ということで、大臣の鈴木憲和も出席させていただいたところであります。動物検疫所で活躍している農林水産省の検疫探知犬も会場でご紹介いただきました。世界獣医師会の会長に就任されました藏内会長には、これまでも世界の獣医師をリードしていただいていたわけですが、これからさらなるステージでご活躍されることを期待したいと思います。私は実は九州の佐賀県出身のごさいます、藏内会長のお隣であります。国会議員になって13年間、この獣医師会の重要性、またワンヘルスの重要性をずっとご指導いただいた一人でもあります。だからこそ、この大会のテーマでありましたワンヘルスで世界の獣医療が示す未来というテーマのとおり、ワンヘルスの理念の推進には獣医師の活躍が欠かせないことを、世界に向けて示されたことは大変意義深いことだと感じております。獣医療は家畜やペットの健康だけ

でなく、人の健康を守るために欠かせない存在であり、まさにワンヘルスの観点から非常に重要であります。

また、産業動物分野におきましては、地域による獣医師の偏り、獣医師人材の確保が課題となっております。今国会で成立をいたしました家畜伝染病予防法の一部改正案の審議におきましても、多くの議員から産業動物獣医師の確保について関心が示されました。鈴木大臣をはじめ、農林水産省としても強く問題意識を持っておりまして、獣医師を確保するためには何が効果的なのか、獣医大学生や現場で働いている獣医師、獣医系大学の教職員など、さまざまな関係者と意見交換が必要だと感じておりまして、私も先日、わが副大臣室に若い獣医師の皆さんをお招きして、獣医師に若い人が志望していただけるためには何が必要だということを、率直な意見交換もさせていただいたところであります。貴会におかれましても、産業動物獣医師の確保にご尽力いただいていることに改めて感謝を申し上げますとともに、今後の一層のご協力をお願いしたいと思っております。

他方、愛玩動物分野に目を向けますと、国家資格化された愛玩動物看護師の登録者数は本年春に3万人を超えました。今後とも貴会が中心となり、獣医師と愛玩動物看護師がそれぞれの専門性を発揮しながら密接に連携することで、飼育者により一層寄り添った質の高いチーム獣医療が提供されることを期待しております。

結びに、貴会のさらなるご発展と本日ご列席の皆様のお健勝、ご活躍を祈念申し上げ、私の祝辞といたします。

〈自由民主党獣医師問題議員連盟幹事長 松山政司参議院議員〉



ただいまご紹介いただきました自由民主党獣医師問題議員連盟幹事長の松山政司でございます。本来でありますと、当議連の麻生太郎会長が参上して、皆様方にご挨拶を申し上げるべきところでございますが、所用によりどうしても出席ができませんので、誠に

僭越ですが、私からひとことご挨拶を申し上げたいと存じます。

本日は、日本獣医師会第83回総会が、多くの皆様方のご出席の下に盛大に開催をされますことを心よりお祝いを申し上げます。

また、獣医師の皆様方には日頃から、ペットや家畜などの診療、あるいは家畜公衆衛生、野生動物保護、さらには医薬品の開発、あるいは獣医学術の発展に至るまで、国民のために大変ご尽力を賜っておりますことに心からの敬意を表し、感謝を申し上げます。

また、私も自由民主党も全国各地で大変お世話になっておりますこと、感謝を申し上げます。特に昨年の参議院選挙、今年、年明け早々の衆議院選挙におきましては、全国各地で本当に力強いご支援を賜りましたことに、この場をお借りまして、執行部の一人として心から感謝とご礼を申し上げます。

4月にこの日本で開催をされた第41回世界獣医師会大会でございますが、私も出席をさせていただきました。開会式には天皇皇后両陛下のご臨席を賜るとともに、ワンヘルスで世界の獣医療が示す未来というテーマの下に、世界各分野の獣医師の皆さんが参加をされて、誠に多い大会であったものと心からお喜びを申し上げます。

昨年11月、国会におきまして、私も参議院の議員会長として、代表質問に立たせていただきました。その折、高市総理に質問をさせていただきましたが、総理からは、人と動物と環境の健康を一つと考える、このワンヘルスに基づく取組がまさに重要であるという認識を明らかにされまして、今年2月の総理の施政方針演説の中でもこの取組をしっかり推進をしていくということで、力強く示唆されました。次なる感染症の危機から国民の命と経済を未然に守る国家安全保障戦略としての取組を大きく前進させなければならないという高市総理、そして政権与党の強い決意を感じた次第でございます。

時を同じくして、このたび、私と同郷でもあります藏内会長が、日本人として初の世界獣医師会会長となりましたこと、まさに時宜を得たご就任であり、心よりお祝い申し上げます。今日まで多大なるご尽力をされてこられた藏内会長が、これからも力強いリーダーシップを発揮されて、世界中を縦横無尽にご活躍いただけることを確信している次第でございます。

私も議員連盟といたしましても、引き続き全力でこのワンヘルスを推し進めてまいります。同時にこの獣医学教育の充実、地域間での獣医師偏在の解消、そして、獣医師の社会的地位の一層の向上、こういった諸課題に皆様方と一緒に取り組んでまいりますことをお誓い申し上げます。今後とも一層のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、本日の通常総会のご成功、そして今後の日本獣医師会のお健勝並びにご列席の皆様方のご健勝とご多幸を祈念しまして、お祝いのご挨拶に代えさせていただきます。

〈公明党獣医師・動物看護師議員懇話会副会長 上田 勇参議院議員〉

ご紹介をいただきました公明党参議院議員の上田 勇でございます。

本日は、日本獣医師会通常総会のご開催、大変おめでとうございます。また、全国各地よりご参集いただきま



した皆様方には大変ご苦労さまでございます。私たち公明党も全国各地で同僚議員が獣医師会の先生方へ大変お世話になっておりますことを、この場でお借り进行いたしまして、心からご礼を申し上げます。と思います。

まず、藏内会長、世界獣医師会会長のご就任、大変おめでとうございます。これは会長のお力によるところももちろんなのですが、日本のこの獣医師会、国際的にも高い評価を受けている証ではないかと考え、大変うれしく思っております。世界獣医師会大会の開催もございました。ますます国際的な協力も含め、日本の獣医師の先生方の力を国際社会の中で生かしていただきますよう心から祈念申し上げます次第でございます。

私は農学部卒業でありまして、農林水産省にも勤めておりましたので、多くの友人、知人が獣医師として、また畜産関係で仕事に携わっております。研究や教育もそうですけれども、さらには行政、そしてまた臨床の場でも多くの活動をしているわけですが、現場での課題が多いということはよく理解をしております。産業動物については感染症がかつてないほどの拡大を見せており、そのまん延防止のために獣医師の先生方が大変なご努力をいただいていることに心からお礼を申し上げたいと思います。

また、愛玩動物も家族の一員ということもさることながら、地域社会の中にあって動物が重要な一員となっているのが今日の日本の社会ではないかと思っております。そうした動物の健康を守るために、獣医師会の先生方には大変なご努力をいただいていることに改めて感謝を申し上げます。と思います。

ワンワールド、ワンヘルス、人と動物の健康、これを共に増進する共生社会を目指しているという、大変素晴らしい理念だと理解しております。私たちも、先生方の活動、理念が少しでも実現できるように微力を尽くしていきたいと願っておりますので、どうかこれからもご指導、ご支援をいただきますよう、心からお願いを申し上げます。

最後になりますが、獣医師会の先生方のますますのご発展、そして、ご活躍を心からご祈念申し上げます、簡単でございますけれどもご挨拶とさせていただきます。

〈環境省 堀上 勝自然環境局長〉

ただいまご紹介いただきました環境省自然環境局長の堀上です。

環境省は動物愛護管理行政を担当しております。石原環境大臣が本来ここでご挨拶すべきところではあります



が、諸事情により出席ができませんでしたので、私のほうで大臣の挨拶文を預かっております。こちらを代読させていただきます。

本日、日本獣医師会の第83回通常総会が、このように盛大に開催されることを心よりお祝いを申し上げます。貴会及び会員の皆様方には、日頃より動物の愛護と管理、希少野生動物の保護、野鳥等の感染症対策をはじめ、広く環境行政の推進に格別にご理解、ご協力を賜っており、厚くご礼を申し上げます。

また、先日はわが国で31年ぶりとなります世界獣医師会大会を見事ご成功に導かれ、そのご尽力に深く敬意を表します。さらに、藏内会長におかれては世界獣医師会会長へのご就任、誠にありがとうございます。世界規模でのワンヘルス、この進展に向けてさらなる活躍をご期待申し上げます。

さて、本年2月に、貴会は災害対策基本法に基づく指定公共機関に指定されました。これにより近年多発している災害時における被災ペットの対応等に際して、獣医師の皆様がこれまで以上に重要な役割を担われていくと、そのことに対して期待をしております。

また、災害時を含めて、犬や猫の返還に活用されるマイクロチップにつきましては、環境大臣への登録数が合計で250万頭を超えており、着実に増加をしております。貴会が動物愛護管理法に基づく指定登録機関として、適切に業務を遂行いただいている賜物であるというふうに考えてございます。また、愛玩動物看護師に関しましては、名簿登録者数は3万人を超えました。愛玩動物に関する獣医療の向上、適正使用の推進に向けて、獣医師の皆様との連携がより一層深まるよう引き続き期待をしております。犬や猫などのペットが家族の一員と言える今、動物愛護管理行政は国民の皆様からの期待も大きく、課題も多岐にわたります。環境省として、その重要性をしっかりと認識し、藏内会長が提唱してこられたワンヘルスの考え方を踏まえながら、人と動物の共生する社会の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。今後とも皆様の一層のお力添えをお願い申し上げます。

結びに、今後の貴会のますますのご発展と本日お集まりの皆様のご健勝を祈念して、お祝いの挨拶とさせていただきます。

令和8年6月22日 環境大臣 石原宏高

〈厚生労働省 鷲見 学健康・生活衛生局感染症対策部長〉

ただいまご紹介いただきました厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部長の鷲見でございます。

本日は、第83回 公益社団法人 日本獣医師会通常総



会にお招きいただきまして、誠にありがとうございます。上野厚生労働大臣が公務のため、出席がかなわず、大臣から祝辞を預かっておりました。僭越ながら私から代読させていただきたいと思います。

第83回 公益社団法人 日本獣医師会通常総会の開催に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。

貴会は、昭和23年の設立以来、長年にわたって人獣共通感染症対策や食品安全対策など、公衆衛生の向上に多大な貢献をしてこられました。この場をお借りして、改めて感謝を申し上げるとともに、これまでの貴会の取組に深く敬意を表します。

31年ぶりの国内開催となりました第41回世界獣医師会大会が本年4月に開催され、盛会のうちに終了いたしましたことを心よりお喜び申し上げます。また、大会終了後に、藏内日本獣医師会会長が日本人で初めて世界獣医師会会長に就任されたことに、心よりお喜び申し上げるとともに、今後ますますのご活躍を大いに期待しております。

近年、デング熱やチクングニア熱の世界的な感染増加、クルーズ船で発生したハンタウイルスによる感染症やコンゴ民主共和国及びウガンダで発生したエボラ出血熱等、人獣共通感染症対策の重要性が一層高まっております。加えて、人、動物環境等に対する抗微生物薬の不適切な使用を背景とした薬剤耐性AMRの世界的な拡大も懸念されております。厚生労働省では、令和7年度に死亡動物の個体数や人獣共通感染症病原体の検査情報を一元的に管理共有する人獣共通感染症病原体監視システム、ZASを構築し、感染症の発生状況の把握に取り組むとともに、本年3月に閣議決定した感染症有事に備えた感染症危機対応医薬品等、MCM戦略の具体化を進めているところでございます。

また、本年4月には感染症対策部にワンヘルス対策推進室を設置し、人・動物・環境といった分野横断的な課題に対し、関係者が連携してその解決に向けて取り組むワンヘルス・アプローチをさらに推進しております。ワンヘルスの考え方についての普及啓発活動や地方獣医師会と連携したワンヘルス・アプローチの推進については、貴会においても率先して取り組まれていると伺っており、深く敬意を表するとともに引き続きご協力いただくようお願い申し上げます。

食品分野につきましても、食肉や食鳥肉の安全確保に必要な検査業務、また、食品の営業許可施設における監視指導について、獣医師の皆様のご活躍なくして成り立ちません。厚生労働省としては、これら食肉や食鳥肉の安

全確保に携わる獣医師の皆様にご協力をいただきながら、食の安全の確保に取り組んでまいります。

最後に、公益社団法人 日本獣医師会のますますのご発展と、本日お集まりの皆様の一層のご活躍を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

令和8年6月22日 厚生労働大臣 上野賢一郎

〈文部科学省 松浦重和大臣官房審議官〉



ただいまご紹介にあずかりました文部科学省大臣官房審議官の松浦です。本来であれば、文部科学大臣の松本洋平大臣からご挨拶すべきところですが、諸事情により出席がかなわず、預かってまいりました祝辞を代読させていただきます。

このたび、第83回 日本獣医師会通常総会が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

藏内会長をはじめ、日本獣医師会会員の皆様におかれましては、日頃より獣医学教育の充実・振興にご尽力をいただいております。深く感謝申し上げます。

また、来年4月に世界獣医師会大会が東京で開催され、藏内会長が世界獣医師会会長に就任されました。この世界大会を契機にこれまで藏内会長が提唱されてきたワンヘルス・アプローチの取組が、世界的な取組へと発展していくこととなります。藏内会長はじめ、関係者の皆様が果たされる役割がますます大きくなるものと見込まれる中、皆様の一層のご活躍を期待しております。

さて、文部科学省では、国際水準の獣医学教育の実現、家畜衛生・公衆衛生分野及び産業動物臨床分野の実践的教育の強化など、獣医学教育の改善に努めてまいりました。しかしながら、引き続き、産業動物獣医師及び公務員獣医師の減少が懸念されており、その養成・確保は喫緊の課題であると認識しております。この課題に関しましては、これまでも日本獣医師会の皆様、家畜診療所、家畜保健衛生所、食肉衛生検査所、保健所等の各施設の皆様のご協力をいただきながら、学生の診療参加型臨床実習及び体験型家畜衛生・公衆衛生実習の実施など、各獣医系大学において家畜衛生・公衆衛生分野及び産業動物臨床分野で活躍し得る獣医師の養成が行われてきたところです。

文部科学省といたしましても、今後も日本獣医師会の皆様、外部実習受入れ施設の皆様のご協力をいただきながら、産業動物獣医師及び公務員獣医師の着実な養成に努めてまいります。

また、獣医学を学ぶ学生が、動物の愛護や福祉といった現在の社会ニーズにも対応した高い能力を持った獣医師へと成長できるよう、令和6年度から、文部科学省で

は獣医学教育モデルカリキュラム改定に向けた調査研究に取り組んでおり、令和8年3月に改定版を公表したところです。改定に際しては日本獣医師会及び関係の皆様から、ご協力とご意見をいただき、この場をお借りして改めて感謝を申し上げます。文部科学省といたしましては、日本獣医師会の皆様をはじめ、関係省庁や大学等とも緊密に連携を図りながら、質の高い獣医師の養成に取り組んでまいります。

結びに、日本獣医師会のますますのご発展と、ご出席の皆様のご健勝をお祈り申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

令和8年6月22日 文部科学大臣 松本洋平

〈公益社団法人 日本医師会 松本吉郎会長〉



ご紹介いただきました日本医師会会長の松本でございます。

日本獣医師会第83回通常総会の開催に当たりまして、日本医師会を代表して、ひとことご挨拶を申し上げます。

全国の獣医師会の先生方におかれましては、日頃より感染症予防や家畜の診療、自然保護、食の安全確保、薬剤耐性対策など、きわめて多岐にわたる分野でご尽力をいただいていることに対しまして、改めて心より敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

また、本年4月には、第41回の世界獣医師会大会が31年ぶりに日本で開催され、大変盛会のうちに終了されました。また藏内勇夫会長が日本人として初めて世界獣医師会会長に就任されたことを心よりお祝いを申し上げます。

また、本大会では、私ども日本医師会も共催という形で連携シンポジウムを開催させていただきまして、医師と獣医師が共にワンヘルスの実践について議論を深める貴重な機会をいただきましたことにも、お礼を申し上げたいと思います。

そして、日本獣医師会におかれましては、直近では犬の登録支援システムの運用開始など、社会のニーズに即した取組を数多く展開してこられ、また、昨年11月には市民参加型イベント、動物感謝デー in JAPANを開催されまして、獣医療や動物福祉に対する国民の理解促進にも大きく貢献されておられます。

昨今は気候変動や自然災害、SFTSをはじめとする新興再興感染症の脅威などを踏まえ、家畜、ペットや野生動物との関わり方、人間と動物との共生についても改めて考えさせられる機会が増えております。長年、藏内会長が提唱されているワンヘルスの理念、これが非常にわが国においてのみならず、本当に全世界にも浸透して

いっているというふう実感いたしております。私ども医師会としましても、獣医師会との連携をさらに強化して、医師と獣医師が一体となって持続可能な社会の実現に貢献してまいりたいと思います。

結びになりますけれども、本総会が実り多きものとなりますこと、そして藏内会長を筆頭にして、獣医師会の皆様による力強いリーダーシップの下で、ワンヘルス・アプローチがより一層推進されますことを、心から祈念しております。貴会並びに獣医療会のさらなるご発展を心より応援申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

〈公益社団法人 中央畜産会 姫田 尚副会長〉



皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました、森山 裕会長の下で中央畜産会副会長を務めております姫田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、83回日本獣医師会総会、おめでとうございます。あわせまして、本年4月に行われました世

界獣医師会大会が成功裏に開催されたこと、そして藏内会長が世界獣医師会の会長に就任されたこと、誠にありがとうございます。これは藏内会長のすばらしさだけではなくて、わが国獣医師会の皆さん方の力、そして獣医療の高度化ということが世界的にも評価されたのではないかと私は思っております。

一方で、私ども産業動物の分野におきましては、経営規模の拡大、あるいは国際化の進展、インバウンドの増大というようなことの中で、鳥インフルエンザでございますとか、馬インフルエンザ、豚熱、アフリカ豚熱、そして口蹄疫、そして昨年はランピースキン病というようなさまざまな海外悪性伝染病が発生あるいは危惧されております。これらを水際で防ぎ、そして万が一のときに早めに火消することも、獣医師の皆様方のおかげです。

また、一方で畜産経営にとって非常に重要な慢性疾病、サーコですとか、マイコプラズマですとか、ヨーネですとか、これらの対策も獣医師の皆様方の日々のご指導の下に、農家が実践していくということが非常に重要なことです。わが国の畜産物を安定的に、かつ消費者に納得のいく価格で提供できるということも獣医師の皆様方の日頃のご努力、ご指導の下になされているのではないかとと思う次第でございます。

また、AMRですとか、さまざまな人獣共通感染症を控えて、藏内会長が提唱されていますワンヘルスをどう進めていくかということは、獣医師の皆様方の非常に重要な業務になっていると考えております。これらの業務が以前よりもはるかに重要に、そして業務も多くなって

いると考えております。ぜひ皆様方の今後のご努力を期待する次第でございます。

一方で、海外に目を向けますと、私は食品安全委員会の事務局長をしていたときに、海外の食品安全行政のトップの皆様方とお付き合いをさせていただきました。ほとんどの国で、トップは獣医師の資格を持った方々でございます。あるいは産業分野も動物医薬品の世界、あるいは人の医薬品の世界、そして食品安全の世界でも獣医師の皆様方がかなり多くいらっしゃるということで、私がミスターの名刺を持っていくと、皆様方からはドクター、ベテリナリアンの名刺をいただいて、非常に恥ずかしい思いをした記憶がございます。やはりこれからの獣医師の皆様方は、現場においてもスーパーバイザーとして出動していただくということ、そして、家畜だけではなく国民の食の安全をどう進めていくかということが非常に重要になってくると思っております。また、先端的研究を行われることも非常に期待するところです。

こういうことを踏まえまして、これからも獣医師の皆様方の地位の向上、それから所得の向上というのは非常に重要になってくるのではないかと考えております。やはり地位の向上、そして所得の向上がなければ、若い人たちの参入が期待できないのではないかと考えている次第です。ぜひ皆様方もプライドを持って、日々の業務を進めていただければ幸いです。

結びに、世界獣医師会会長の藏内会長を中心に、わが国の獣医師の皆様方がさらにご活躍いただき、そしてわが国の動物と人と食品の安全を守っていただくことを期待する次第です。本日ご参会の皆様方のさらなるご発展と、それから日本獣医師会の発展を祈念いたしまして、それから世界獣医師会の発展も祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

【来賓の紹介】

駒田事務局長から来賓の紹介が行われた。

【賛助会員出席の披露】

駒田事務局長から出席の賛助会員の紹介が行われた。

【祝電の披露】

駒田事務局長から祝電が披露された。

【獣医師会職員永年勤続表彰】

獣医師会の永年勤続職員に対して次のとおり表彰が行われた。

- ・ 40 年勤続表彰
松田良子（茨城県獣医師会）
- ・ 20 年勤続表彰
古関芳恵（仙台市獣医師会）

河野純子（島根県獣医師会）

松岡 猛（日本獣医師会）

【議長・副議長選出】

会長が仮議長となり、議長・副議長の選出について「仮議長一任」の声を受け、次の2名を議長・副議長に選出した。



議 長
吉岡 豊
（奈良県獣医師会）



副議長
小野裕之
（仙台市獣医師会）

【議 事】

議長により次のとおり議案審議が進められた。

《第1号議案 令和7年度事業報告の件》

- (1) 伏見専務理事から令和7年度事業報告について報告された。

《第2号議案 令和7年度決算の件》

- (1) 伏見専務理事から計算書類が説明されるとともに（別記1 令和7年度正味財産増減計算書）、市川監事から決算監査報告書が読み上げられ、報告された。
- (2) 第2号議案の採決が行われ、全会一致により可決・承認された。

《第3号議案 令和8年度事業計画の件》

《第4号議案 令和8年度予算の件》

第3号議案、第4号議案は関連議案として一括上程され、伏見専務理事から令和8年度事業計画（別記2 令和8年度事業計画書）及び収支予算（別記3 令和8年度収支予算書）について説明が行われた。

《第5号議案 令和8年度会費及び賛助会費の件》

伏見専務理事から令和8年度会費及び賛助会費について説明が行われ、異議なく承認された。

《第6号議案 「公益社団法人 日本獣医師会定款」の一部改正に関する件》

伏見専務理事から「公益社団法人 日本獣医師会定款」の一部改正について説明が行われ、異議なく承認された。

《第7号議案 「日本獣医師会役員の報酬等に関する規程」の一部改正に関する件》

伏見専務理事から「日本獣医師会役員の報酬等に関する規程」の一部改正について説明が行われ、異議なく承認された。

《第8号議案 逝去理事に対する退職慰労金の支給に関する件》

伏見専務理事から令和8年3月4日に逝去された篠原公七四国理事に対する退職慰労金の支給について説明が行われ、異議なく承認された。

《第9号議案 役員選任の件》

伏見専務理事から、篠原公七四国地区理事が任期途中で逝去されたことに伴い、役員定数、任期、候補者の公

示期日、選任方法について説明された後、令和8年度第1回理事会で選任された役員候補者名簿が示され、承認が諮られた。全員が異議なく承認された。

【補欠役員候補者】

栞島正徳（香川県獣医師会会長・四国地区理事）

【議長・副議長の退任挨拶】

議長・副議長から退任に際して円滑な審議へのお礼が延べられた。

【閉 会】

駒田事務局長から第83回通常総会の閉会が告げられ、こののち別室にて第3回理事会を開催し、補欠選任理事について決定する旨説明された。